

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
C-540	15-107	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門
題名 (原題/訳)		
Update on Alcoholic Hepatitis. アルコール性肝炎に関する最新知見		
執筆者		
Torok NJ.		
掲載誌		
Biomolecules. 2015 Nov 2;5(4):2978-86. doi: 10.3390/biom5042978.		
キーワード		PMID
脂肪性肝炎、アルコール性肝障害、酸化ストレス、TNF α 、IL22		26540078
要 旨		
<p>アルコール性肝障害は世界中で最も一般的な肝疾患のひとつで、罹病率と死亡率の主要な原因である。アルコール性肝炎は、アルコール乱用の患者で肝臓損傷の重症型である肝合成機能の急激な減少、および死亡率の必然的な増加に関連付けられている。重度のアルコール性肝炎の場合、治療しても約 30%–50%が最終的に死に至る。アルコール性肝炎の発症に通じる病原性経路は複雑で、実質細胞への障害と肝星細胞の酸化ストレス、腸内細菌の構成異常と調節不全が含まれる。アルコール性肝炎の治療法は限られており、病態生理学のより良い理解は、転帰を改善する新しいアプローチを生成するために必要とされる。本レビューは、アルコール性肝炎の新規治療戦略の診断および病因における最近の知見に焦点を当てている。</p>		